

# 西大和つうしん

2015年 11月号

No.401



白 山

2015年9月26日

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

# 西大和つうしん

## 第401号(2015年11月号)

### 【目次】

11 月度山行計画	1
11 月度・12 月度カレンダー	3
山行・行事等参加メモ	4
<b>山行報告</b>	
・自主山行 《9月17~20日》 信越の山 火打山・妙高山(勝尾・杉村)	5
・自主山行 《9月18~22日》 北アルプス 槍ヶ岳~穂高連峰(杉川)	7
・自主山行 《9月20~21日》 鳥取の山 大山(野路)	10
・例会山行 《9月26~27日》 北陸の山 白山(多賀・林)	12
・例会山行 《10月4日》 播磨の山 善坊山~笠松山(杉村)	13
・自主山行 《10月9~11日》 北八ヶ岳 北横岳(玉越)	15
・例会山行 《10月11日》 江若国境 百里ヶ岳(田中初)	16
・自主山行 《10月16日》 台高の山 迷岳(阪口)	17
・例会山行 《10月18日》 鈴鹿の山 釈迦ヶ岳~猫岳(藤井)	18
西日本女性担当者交流集会報告《10月17~18日》(今井)	19
運営委員会だより(10/2)	20
室内例会だより(10/2)	21

### 11 月度 例会 山行 計画

~秋の北山へ~

例会山行1

◆11月8日(日)◆京都北山:《棧敷ヶ岳》

[L: 的場/緊連: 藤本]

【集合場所】京都 地下鉄北大路駅バス停(⑤番出口)AM8:20

【コース】北大路バス停(8:40 発) = 岩屋橋~(60)~薬師峠~(45)~  
 岩茸山~(50)~棧敷ヶ岳~(ナベクロ峠)~(50)~祖父谷峠  
 ~ (90)~岩屋橋バス停(15:10 発) = 地下鉄北大路駅バス停

\*もくもくバス利用 交通費: 往復約 3,000 円

～義犬伝説がある、紅葉の紀泉の山～

公開山行

◆11月15日(日) ◆紀泉の山《犬鳴山》(高城山)

〔L：辻/緊連：藤井〕

【集合場所】 JR阪和線 日根野駅東口

【集合時間】 AM8時20分[犬鳴山行きバス(8:34 発)に乗車]

【交通】 王寺(7:09 発)⇒天王寺(7:31 着/7:41 発)⇒(阪和線)⇒日根野(8:15 着)

【コース】 犬鳴山バス停(40分)⇒休憩広場(40分)⇒行者ノ滝(10分)⇒林道出合(60分)⇒高城山(30分)⇒ハンドパーク粉河(60分)⇒休憩広場(40分)⇒犬鳴山バス停(15時頃着予定)

※公開山行の為、降水確率50%で以上の場合は中止。

11 月 度 自 主 山 行

鈴鹿の山

◆11月11日(水) ◆鈴鹿山系《藤原岳》

〔L：島崎/緊連：辻〕

# 西大和山の会 カレンダー

11 月		12 月	
1	日	10/30~11/1◇自主・大峰奥駆(藤本)	1 火
2	月		2 水
3	火		3 木
4	水		4 金
5	木		5 土
6	金		6 日
7	土		7 月
8	日	◆例会山行1 棧敷ヶ岳(的場)	8 火
9	月		9 水
10	火	県連理事会	10 木
11	水	◇自主山行・藤原岳(島崎)	11 金
12	木		12 土
13	金		13 日
14	土		14 月
15	日	◆例会山行2 犬鳴山(辻)	◆例会山行2 大洞山・尼ヶ岳(多賀)
16	月		『西大和つうしん』1月号原稿締切
17	火		15 火
18	水	『西大和つうしん』12月号原稿締切	16 水
19	木		17 木
20	金		18 金
21	土		19 土
22	日	◆例会山行1 夫普賢岳(林)	20 日
23	月		室内例会・忘年会
24	火		21 月
25	水	室内例会 (PM7:30~)	22 火
26	木		23 水
27	金		24 木
28	土		25 金
29	日		26 土
30	月		27 日
			28 月
			29 火
			30 水
			31 木

## 山行・行事等参加メモ

入会順		10/28 室内例会	11/8 栈敷ヶ 岳	11/11 藤原岳	11/15 犬鳴山			
1	(窪田)							
2	都築							
3	藤井	○	○					
4	(石田)							
5	多賀							
6	田中悦	○	○		○			
7	島崎	○	○	L○	○			
8	田中初	○	○		○			
9	村田	○						
10	林	○			○			
11	辻	○	○		L○			
12	勝尾		○					
13	藤本	○			○			
14	杉村	○	○		○			
15	高橋	○						
16	玉越	○						
17	的場	○	L○		○			
18	杉川	○			○			
19	阪口	○	○	○				
20	橋本	○		○				
21	今井							
22	亀高	○			○			
23	松浪		○		○			
24	亀井	○	○					
25	船江	○	○					
26	野路	○	△	○	○			
27	竹川	○						
28	森川							
29	中	○			○			
	合計	20	13	4	13			

## 自主山行 信越の山《火打山・妙高山》

【日 程】9月17日(木)～9月20日(日)

【参加者】L 藤井・SL 勝尾：橋本；杉村

【コース】《9/18 火打山》 笹ヶ峰登山口(8:40)～黒沢出会い(9:40)～十二曲がり(10:00)～富士見平(11:40)～高谷池ヒュッテ(12:45)～(13:45)～雷鳥平(15:00)～火打山(15:40)～高谷池ヒュッテ(17:00)

《9/19 妙高山》高谷池ヒュッテ(7:00)～黒沢池ヒュッテ(8:15)～大倉乗越(8:50)～長助池分岐(9:40)～妙高山(11:30～12:30)～天狗平(14:30)～麻分岐(15:25)～麻平(16:30)～燕温泉(17:10)

【9/18】笹ヶ峰登山口から、明るい緑の広葉樹林の中の緩やかな木道が続く。夏山シーズンが過ぎシルバーウィークの連休前とあって、登山者も少なく山は静かである。その緩やかな木道も黒沢の出会いまで、その後急な登りとなり20分程で12回の九十九折を繰り返す12曲がりの急坂になる。12分の1から12分の12まで回数が表示してある。思った程ではなく15分で通過。4人の足取りも軽く、樹林に囲まれた尾根筋を富士見平へ。ここは高谷池と黒沢池の分岐点。少しずつ紅葉の木が目立つ様になったが、回りはガスに包まれて何も見えない。下山中のご夫婦に昨日はすごい雨だったと聞き、今日で良かったと思ったのだが……。

左の高谷池への道に行く。少し登れば展望の良い所があるらしいが、ガスで見えなくて残念。道も緩やかな木道となり、赤茶色に色づいたナナカマドやリンドウの花を楽しみながら三角屋根の高谷池ヒュッテに到着。宿泊手続きと昼食を済ませ火打山へ。地糖の高谷池と天狗の庭はガスっていて幻想的な雰囲気の良いが、晴れた姿も見て見たいものだ。天狗の庭を過ぎた辺りから小雨が降り出した。長い木道、階段、ブッシュが刈り込まれているが歩きづらい道、岩の道と、次第に強くなる雨に足元に気を付けながら登る。途中、雨の中で木道の工事をされていた。

雷鳥平を過ぎてから頂上までが長かった。もうすぐかと思って登っていたが、遠く淡くガスの中に浮かんだ稜線を見てガッカリする。まだかまだかと思いなが



らやっと着いた頂上で写真を撮りすぐに下山。下りはますます雨脚が強くなり、川のようになった登山道を慎重に、かつ迅速に下った。(記：勝尾)

【9/19】今日は妙高山への山行である。妙高山は北峰、南峰の双耳峰で有り越後富士とも呼ばれ、古来からの信仰の山である。天気もよく、清々しい紅葉の朝の散歩をゆっくりする。宿泊者最後の出発かもしれない。またこれも自由な自主山行の特典かな。三角屋根の高谷池ヒュッテを女性4人元気にスタートする。



昨日通った木道を妙高山分岐まで歩き、少しアップダウンはあるが楽しくおしゃべりしながら茶臼山へ。茶臼山からの展望は池塘と草紅葉と前方に見える紅葉の山容とのコントラストが最高であった。ここを下れば八角形ドーム型の黒沢池ヒュッテに至る。

僅かな休みだが殆ど疲れも無く樹林帯の急登をみんな楽々通過し大倉乗越となる。ここからは急降下で滑りやすいガレ場をロープもあったが岩をつたいながら、また枝を持ちながらゆっくりと下った。そして川を渡り長助池分岐に着く。

沢の上流に向かって登って行くと自然と妙高山への道となる。上を見上げると妙高山が望めるようになると下ってくる人も増えてきた。もう少しと思いい目散に山頂に向かう。



思いのほか早く着き「ゆっくりしましょう」と言う事になる。山頂にはツアーの大勢の人がお弁当を食べていて一時的に賑やかだったが、下山されると静かになった。Fさんが持ってきていただいたコンロでお湯を沸かし美味しいコーヒーを。火打山の山頂は雲に覆われていて展望はあまりできなかったが至福のひと時にお喋りの花が尽きない。少しゆっくりし過ぎたかな。

妙高南峰、最高地点2, 454mを通過して岩の多い急な坂を気を付けて下る。岩の稜線を無難にこなすと岩崩れがある所に出会う。迂回路が出来ているので安心だったが大きな岩が落ちているのを目のあたりにすると、こんな時に遭遇すればひとたまりもないと、御嶽山を思い慎重に通過した。そうこうするうちにロープのあるガレ場を下り直ぐに山腹のトラバース道があり、又すぐに細い鉄の長い階段を下った。が妙高山で強いて危ないと思ったのはこの場所のように感じた。

天狗平は何も無く小さな祠があるのみ立ち休憩で先に進む。この辺から岩や土が滑りやすく何回か「ツルッ」となるが、みんな怪我もなく元気にすすむ。

麻平分岐で川を渡ってからは、歩いた人の足跡も少なく道も登り返しが何度かあり疲れも出ていたが、トラロープや藪漕ぎもあり面白いコースであった。

麻平から燕温泉は何となく長い距離に感じたが、休憩を省いて9時間歩いた事になる。皆の足並みも揃っていて楽しく下山出来た。

今回は大好きな高層湿原と点在する池塘が幻想的で魅力的に見る事が出来、憧れだった妙高山の山行を作っていただいたF様に心から感謝しています。

また女性4人の山行は話が弾み何かと目立ったのか、ロッジからは飲みきれない美味しいホットワインとおつまみの差し入れをして頂き楽しい時間を過ごしました。

あくる日は、近くの日本の滝百選に選ばれている落差55mの苗名の滝への観光まで作っていただき、あっと言う間の4日間でした。

大変お世話になりありがとうございました。  
(記：杉村)



<滝苗名の滝>

## 山行報告

### 自主山行 槍ヶ岳～穂高連峰縦走

【日 程】 & 【J-7/14】

9月18日 曇り

穂高駅駐車場 (9:00) ~中房温泉 (10:00~10:20) ~第一ベンチ (10:50~11:05) ~第二ベンチ (11:27~11:38) ~第三ベンチ (12:10~12:20) ~富士見ベンチ (13:05~13:15) ~合戦小屋 (13:45~13:55) ~燕山荘 (15:00)

9月19日 晴れ

燕山荘 (6:30) ~喜作レリーフ (8:20) ~大天井ヒュッテ (9:20~9:30) ~ビックリ平 (10:00) ~ヒュッテ西岳 (11:50~12:10) ~水俣乗越 (13:00) ~ヒュッテ大槍 (14:45) ~槍ヶ岳山荘 (15:30) ~殺生ヒュッテ (15:50)

9月20日 晴れ

殺生ヒュッテ (6:30) ~槍ヶ岳山荘 (7:00~7:10) ~槍ヶ岳山頂 (9:20~9:30) ~槍ヶ岳山荘 (8:00~8:10) ~大喰岳 (8:50) ~中岳 (9:30) ~南岳 (10:30) ~南岳小屋 (10:40)

9月21日 晴れ

南岳小屋（6：30）～A 沢コル（8：00～8：10）～北穂小屋（9：50）～北穂山頂（10：00～10：05）～穂高岳山荘（13：00）

9月22日 晴れ

穂高岳山荘（6：25）～奥穂山頂（7：10～7：45）～紀美子平（9：30～9：40）～前穂山頂（10：20～10：30）～紀美子平（11：00～11：20）～岳沢小屋（13：25～14：45）～上高地（15：30）

【参加者】L 杉川(1名)

9月18日

やっときたシルバーウィーク。去年より意識しており、何処へ行くか迷っておりました。中武せんせいにも相談してみたところ、穂高でも縦走してきたら？との事。まあ、さすがやなと言われるようにせなあかん！とアドバイスを頂き今回のコースとなりました。まあ、もちろんテント泊で。

当日は9時に穂高へ到着。ああ、中房へのバスに間に合わず・・・どうしよう？次のバスまで約2時間待ち・・・仕方なしにタクシーで中房へ。7500円也！高いけど仕方ない・・・約1時間で中房到着。誰もいない登山口。そうだ！今日は平日なんだ！久々に静かな山歩きが楽しめそうだ！天気は曇り・・・雨よ、降らないでくれと願いひたすら登る。合戦小屋手前で木々も色付き始める。左を見ると大天井岳が見えたりガスで隠れたり・・・紅葉も美しい。合戦小屋に到着。スイカがおいしそう！しかしタクシー代が頭をよぎる・・・がまんがまん・・・その代わり小屋についたらケーキセットを食べようと誓い出発。早々に燕山荘到着。

今夜は久々の燕山荘なので小屋に泊まる。この小屋は本当に泊まる価値があるとと思う。それほどにいい小屋だと思う。一応聞いて見て混んでたらテントでいいやと思っていたが空いてるとの事。では泊まろう。明日はどう？と聞くと布団1枚に今は二人との事。やはり連休初日の予約はすごそうだ！まあ、予報は連休はずっと晴れ予報だし明日からはテント泊！テン場争いに負けないようにしなければ・・・荷物を置いてカフェでビールとケーキセットを食す。曇り空を見ていると雨が降り出す。よかった！タクシー使わなければカップ着なきゃならないところでした。で、おいしいご飯を食べて就寝・

9月19日

朝、窓より顔を出す。見事な星空。よし！完全に晴れだ！テンションが上がる。外に出て日の出を待つ。浅間山が美しい。槍も裏銀座も南アルプスも富士山もすべて見える。

今日の予定は槍まで・・・遠いな・・・小屋で横だった若者とついつい話し込み出発は6時30分。まずいな・・・槍まで歩けるかな・・・まあ、最悪、西岳にテント張ればいかと考え歩きだす。いやはや、さすが表銀座。晴れて歩くのは初めてだが美しい！ひたすら写真を撮る。そしてしゃべりまくる。今日はどこまで？テン泊の人には背負ってるね～！などなど・・・うーん、久々のソロも楽しい！

大天井岳分岐まではたくさんの人に会いましたがそれ以降は水俣乗越まで何人かしか会わない・・・やはり長いからか人はかなり減る。しばらくは紅葉と北鎌と槍に心奪われながら歩く。途中貧乏沢の入り口発見！ここが北鎌の入り口の一つ

か・・・いつか、いや、近いうちに北鎌には行くぞ！必ず、大天井ヒュッテに泊まって・・・・・・・・いやいや、違う！湯俣から行けるように技術と経験を磨かねば！と誓う。ここ、この山行の一つのポイントでした！

そしてヒュッテ西岳の裏で美しい槍を見ながら昼食。しかしほんとに美しい！これほどまでに快晴は予想以上！上機嫌で槍に向かう。ヒュッテ大槍に14時30分着。このまま槍の山荘まで行けばテン場空いてるかな？と期待しつつ槍山荘まで行ってみる！小屋につくと玄関にテント場は満員の文字・・・落ち込みつつ殺生へ向かう。その間にも槍の山荘へ向かいどんどん登ってくる。私はテン泊装備の人には絶望的な言葉を浴びせる。テン場は一杯だよ。諦めて殺生へ行くのだと・・・でテン場到着。

テントを張ってビールをちびちび飲む。いやあ、よく歩いたなと一人で一杯。小屋前で何人かの人と談笑しテントへ戻る。あれ？なんか変だ？マットが空気漏れしている・・・うーん、穴がわからない。修理道具は持っけていても直しようがない・・・まあ、いいか、マット無しでもちょっと寝心地が悪いだけだろう・・・

## 9月20日

今日も快晴！テン場からの槍が美しい。ちなみに寝れたけどさすがに体が痛い・・・さあ、急いで槍にいかねば！なにせ今日の予定は南岳小屋までの楽々デーに設定している日！初めての槍を満喫してやると思い出発。で、まだ、渋滞はましで槍ヶ岳到着。360度の大展望！お見事！穂高の稜線が美しい。笠が岳、立山、双六、常念、蝶、すべてが美しい。みんなが何回も来るのがわかりました！帰りは厳冬期、残雪期と槍の穂先からどのように降りれば良いのかを考えながら降りる。まあ、結論は懸垂下降しかないのかな？と考える。

そして、楽しみの3000級の稜線歩き！あっという間に南岳小屋到着。早々にテントを設営しビールの買い出しに・・・その後は大キレットと北穂高を眺め、お昼寝しビールを飲みを繰り返していました。



## 9月21日

今日も快晴！すばらしい天気。今日は穂高岳山荘まで歩く日。岩稜帯なので気をつけねばと思う。朝焼けの北穂を堪能して出発。キレットも沢山の人。渋滞が起きている。危険箇所も多いが何よりも落ちてくる石も多い。ラクと叫び声は何回も起こる。落ちるのも危険だが落石にも特に注意して歩く。もちろん落とさないように注意しながらです。北穂に到着するも写真を撮り早々に出発。今日は穂高岳山荘にテントが張れるかが心配。一番混む日らしい。北穂についたときに丁度ガスがかり始める。よかった！なんとか晴れた大キレットを歩けた。あとは穂高岳山荘までなら余裕かと思いきがここからが遠い遠い・・・しかし、初めての穂高の縦走なのに北穂より先がガスとは・・・残念。まあ、仕方ない・・・

涸沢岳を過ぎると穂高岳山荘の発電機の音が聞こえる！よし1急ごう！ついたら急いで受付。なんとかヘリポートに設営。ここが一杯になると4時撤収を約束に山荘前の石畳に設営することになるらしい。今日は急いできたので疲れしました。後はテン場で色々な人と談笑して時間をつぶす。この時間が貴重な時間。色んな人と話をし、刺激を受ける！有意義な時間を過ごせました。

## 9月22日

快晴・・・この連休はほんとにすばらしい天気。今日は最終日。奥穂～前穂、岳沢より上高地の予定。奥穂への梯子を登るときに実感。体が重いな・・・やはり疲れか・・・気をつけねばと気を入れなおす！奥穂に到着。急いで写真を撮る！ここからの眺望もすばらしい。いままで歩いてきた稜線もすべて見える。笠ヶ岳、常念、そのうち行きたいジャンダルム。焼岳、乗鞍、御嶽まで美しい。さあ、今度は前穂だ！と吊尾根へ向かう。左手には涸沢。テントと紅葉が美しい！また涸沢にも行ってみたいと思う。下から見る北穂から前穂も今日は素晴らしいだろうと思う。紀美子平まで着くとザックをデポして前穂へ登る。

前穂からの眺望も美しい。これで穂高縦走完了！後は下山だ！初めての上高地の情報を集めながらの下山。かなりのバス待ちらしい。まあ、今日は帰るだけだし、のんびり下ろうとおもう。しかし、下りが長い・・・岳沢小屋は見えるが全然近付かない・・・しかも激下り・・・気をつけて歩く。しかし、岳沢の紅葉も美しい。後、少したてばもっとすばらしいだろうと思う。残念・・・いやこれだけ快晴の槍～穂高縦走だったのだ！満足満足。岳沢小屋でおいしい雪溶水を頂き上高地へ到着。バスは約1時間まちで乗れました。しかし沢渡いきのバスは待ちの行列が河童橋手前まで伸びている！すごい待ち時間らしい。

これにて終了！いままで支えてくれた方々へ感謝です。そしてこの縦走で出会ったすべての人たちが無事下山することを祈りつつ帰路につきました。（記：杉川）

## 山行報告

### 自主山行 鳥取大山 1,907M

【日程】9月20日(日)～9月21日(月) 晴

【参加者】L 島崎・今井・野路 (3名)

【コース】

【20日】 佐味田川駅集合(10:00)～下山野営キャンプ場(16:00)

【21日】 下山野営キャンプ場(7:00)～6合目避難小屋(8:30)～8合目(9:15)～  
大山山頂(9:40/10:20)～6合目(11:15)～元谷河原(12:15/30)～  
大神山神社(12:50)～キャンプ場(13:10/14:00)～佐味田川駅  
(21:15) (約5時間)

大キレットが中止になり、代替え山行で「大山」に行く事になった。初のテント泊と共同食で沢山の荷物となる。集合場所を佐味田川駅にして頂き、「ラッキー!!」と思ったのも束の間・・・この日は「町内クリーンデー」と言う事をすっかり忘れていた。ご近所の顔見知りの方々が掃除をしている中、「すみません」と頭を下げながら車に乗る。本当に申し訳なく、ちょっと辛い時間だった。

連休とあって途中、吹田ICより19KMの渋滞に巻き込まれながらも、予定通り午後4時に、下山野営キャンプ場に到着。キャンプ場は広くて、季節外れと言うことで無料だった。水は止められ使用できないが、すでに、かなりのテントが設営されていた。

翌日、予定より1時間早く出発。地図を見ると、キャンプ場を出て右に行くとなぐに登山口があるはず・・・がない。しばらく探すと右ではなく左が正しく、夏山登山口があった。最初はなだらかな階段が続く。

西日本最大のブナの森は未だ青く、「あと一月もしたら見事な紅葉に変わるかな」と思いをはせながら登る。5合目辺りから少し急登になってきた。登るにつれ視界が良くなり、下の方を見ると丸く湾を描く日本海と、穴道湖が綺麗に見える。なんて美しい景色でしょう!!

8合目を過ぎると所々木道になり、山頂辺りは全て木道で整備されていた。

大山は中国地方の最高峰で、伯耆大山、又は伯耆富士とも呼ばれ、鳥取県のシンボルの一つとされているが、古来から信仰の山として、一般の登山は禁止されていたようだ。山頂付近は、国の特別記念物に指定されている、「ダイセンキャラボク」に覆われていた。

暫く「ティータイム」を楽しんでいる間に、山頂は沢山の人がだかりになっていた。下山を始めると、登る人々で混雑し、その数は段々と多くなり、見ると長蛇の列。8合目辺りからは渋滞にかわり、殆ど歩けない状態・・・渋滞は5合目近くまで続いていた。連休とあって、家族連れで子供達も多く、山頂に着くのも至難の業・・・

子供達は大丈夫かなと案じながら下る。5合目少し手前の分岐から、行者登山道に入り、急な階段を下ると元谷河原へ出た。しばし休憩をしたのち、大神山神社からキャンプ場へと戻り、帰路に着く、帰路も吉川を過ぎたあたりから、25KMの大渋滞であった。

(記：野路)



## 例会山行 1 (テント泊・初級教育山行) 北陸の山：白山 (御前峰) 2702m

【日 時】9月26日 (土) ~27日 (日) 曇り

【参加者】L 藤本、SL 辻、SL 今井、藤井、多賀、田中 (悦)、林、亀高、橋本、  
亀井、船江、竹川 (計12名)

【コース】9月26日 市ノ瀬 (11:20) ~別当出会 (11:45) ~中飯場 (12:35)  
~甚之助避難小屋 (14:15/35) ~南竜道分岐 (15:02/11) ~ (15:  
35) 南竜馬場野営場

9月27日 [アルプス展望道コース] 南竜ヶ馬場 (6:15) ~展望台  
(7:15) ~白山室堂 (8:15) ~御前峰 (9:10/9:35) ~白山  
室堂 (10:20) ~エコーライン分岐 (10:40) ~テント場 (11:  
45/12:30) ~甚ノ助小屋 (13:25) ~中飯場 (14:35) ~別  
当出会 (15:20)

【9/26】台風がそれ心配された天気も回復、テント泊と新人さんの教育を兼ねた山行が行われました。A班B班に分かれての出発です。吊橋を渡り登山スタートです。

夏山に比べ随分涼しく重いザックを持つには助かる。とはいえ樹林帯の中飯場までの階段上の急な登りは手強く、歩き始めの体には応えすぐに汗が吹き出る。

砂防新道を甚之助避難小屋までは、ひたすら黙々と歩き高度をかせぐ、汗が吹き出る。小屋で休憩をとり B 班の到着を待つ。地図読み等のレクチャーを受けてる模様だ。上を眺めるとこれから登る白山の姿がガスの中から「ドンピシャの時に来た紅葉真っ盛りだ」またテント場に通じる南竜道を歩く登山者の姿が見える。

ほどなく B 班と合流、ここからは一頑張り南竜道分岐、あとは水平道と今日の行程の先が見えてきた。ここからは景色が一変ガスに浮かぶ赤や黄に色づく木々の様子、つい先だって来た時より随分季節が進んでいる、来てよかった。

程なく左に南竜山荘そして右奥に今日のテント場南竜馬場野営場、さらに別山も姿を表す。全員テント場到着です。担ぎ上げた重い荷を下ろし早速宴の場所を決め、女性による食事の準備、そして新人さんは先輩に教わりながらのテントの設営と手際よく明るいうちに準備が終わり後は、テント泊のその日のフィナーレは山小屋で仕入れたビールで先ず乾杯お疲れさまでした。

そして山での語らい。辻さん手作りの歌集を片手に呑めや歌えや騒げや、でもここは山のテント場騒ぎはしていませんよ。ルールは守ります西大和山の会です、教育山行です。それから、おいしい鍋ありがとうございました。明日の紅葉がたのしみだ。おれはしがたい山がらす月を眺めてあきらめる笑ってくれるな御月様 ♪♪ ~

(記：多賀)



【9/27】夜明けと共にテント場よりアルプス展望道コースへ向けて出発。今日は、空荷ザックでの登りの為に気持ちに余裕がある。展望台までに上空にガスが出て山頂方面の遠望は出来ず、下方には山小屋とテント場ナナカマドの紅葉の中に見えている。

これより上は森林限界となり、ハイマツの緑と草モミジの黄色を楽しみながら室堂平まで順調に上る。山頂まで登り切ると、うろこ雲が浮く秋空が見えて来たが、北アルプス方面は雲の間にわずか見え隠れしている。気掛な御嶽山も遠望できず。

下り、白山室堂・弥陀ヶ原・エコーラインまでは、緑と黄色のさわやかな景色を堪能してテント場まで下る。テントを撤収して、荷物を振り分けた重いザックを担いで何とか無事登山口まで下山できた。

テント泊の苦楽を皆さんと共有出来た事。霊峰白山に登れたことに感謝です。  
(記：林)



山行報告

## 例会山行 2 播磨の山 <善防山～笠松山>

【日 時】 10月4日(日)晴れ

【参加者】 L 田中悦・SL 島崎・村田・野路・阪口・高橋・橋本・杉村  
L 田中初・SL 辻・藤井・今井・的場・林・勝尾 (計 15 名)

【コース】 善防公民館(9:05)～登山口(9:18)～善防山(10:10/26)～吊橋  
(10:53)～笠松山(11:45)～古法華寺(13:00/55)～善防公民館  
(14:18)

今日の山行は 15 名なので 2 班に分かれての山行となる。

公民館駐車場からは加西アルプスの岩肌が見えていた。県道を 10 分程歩くと登山口となり、あまり踏まれていない竹藪の中を歩く。自然と道が岩へと変わり上りが続く、岩稜を上って行くと岩尾根と出る。展望ものどかな町加西、田んぼ、多くのため池、走る北条電車を見ながら歩く。また今日はいいい天気過ぎて、さえぎるものがなくじりじりと頭から焼けつく暑さである。岩稜歩きが続き緊張するが周りの田園風景の見晴らしにより気が紛れる。

前方に三角の山の善防山がみえ出すはまだ遠い。富士山第二頂上の表示があったが素通り。善防山を富士山と例えられているのかな。岩尾根から時々林の中を歩くと暑さが和らぐ。しばらく上ったところで大岩が数個ある善防山の山頂であ



った。小休憩をとる。

山頂を下ると展望の  
きく尾根歩き左右の景  
色を見ながらアップダ  
リをこなす。後ろを振り返  
ると通ってきた道がそ  
して善防山が見える。階  
段状になった道を大き  
く下ると吊り橋が見え  
てきた。つり橋はわりと  
頑丈にできていたが何  
人かが通ると揺れる。下  
は林道のもようであつた。  
渡りきると目の前には  
大きな岩尾根が現れ、鎖

が付いていたが滑る岩ではなかつたので岩肌を慎重に上つた。暫く進むと前方上  
には笠松山、東屋の稜線が見え穏やかな気持ちになる。尾根からは集落も見え景  
色もよくまたクライマーが訓練しているのが見えた。石切り場の後のように山が  
半分しか残っていない岩を横目に見ながらなだらかな岩尾根を行く、そして最後  
の急登を登ると展望台のある笠松山に着く。ここでお昼とした。

途中アクシデントがあり笠松山から古法華寺まで一気に下つた。暑い一日だ  
つたが低山でこの様な岩稜歩きが出来る山も珍しいのでは・・・

リ-ダ-様また面白い楽しい山を楽しみにしています。 (記：杉村)



## 自主山行 北八ヶ岳：《北横岳》 2,480m



【日 程】10月9日(金)夜発～10月11日(日)  
【参加者】L 藤本・SL 杉川・玉越・今井 / 郝(奈良芳山)  
(計5名)

【コース】

【10/10(土)：曇り一時晴れ】北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅(9:16)～北横岳ヒュッテ(10:11/30)～北横岳南峰(10:41/50)～北横岳北峰(10:54/11:07)～北横岳ヒュッテ(11:25/12:06)～三ツ岳第3峰(12:50/57)～第2峰(13:15/26)～第1峰(13:40/45)～コル(14:02/04)～雨池山(14:17)～雨池峠(14:30/31)～縞枯山荘(14:36)～坪庭(14:42)～北横岳ヒュッテ(15:20)

【10/11(日)：風雨強し】北横岳ヒュッテ(8:40)～北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅(9:20)

前日深夜に出発し、休憩をはさみながら、ピラタス蓼科ロープウェイ山麓駅に8時半に到着した。広い駐車場には、すでに全国各地のナンバーの車が多く停まっていた。お天気は、うすぐもり。時折青空がのぞく。ゆっくり準備をして、ロープウェイに乗車すること、約7分で山頂駅に到着する。山頂駅からは、北横岳と縞枯山の鞍部に広がる溶岩台地を歩く。この「坪庭」は遊歩道が整備され、40分ほどで散策できるため、軽装の観光客で賑わっている。

坪庭周遊コースから分かれ北横岳への登山道へ入ると、まもなく橋を渡って登りに入る。登山道のジグザグを繰り返す間に階段や栈道がいくつかあるが、いずれも危険を感じることはない。三ツ岳への分岐を過ぎ、橋を渡って北横岳ヒュッテに到着。チェックインを済ませ、荷物を置いて軽装で山頂を目指す。ヒュッテを出て10分ほど急坂を登ると、北横岳南嶺に出る。うすぐもりながら、目の前には蓼科山、遠くは北アルプス、乗鞍岳、御岳山、中央・南アルプス、南八ヶ岳がぐるっと一望できた。さらに数分で北峰に着く。展望を満喫した後はヒュッテに戻って昼食を摂った。

このまま眠ってしまいそうなところ気合を入れ直し、三ツ岳に向けて出発。橋の手前の分岐を三ツ岳方面へ左に入る。間もなく大きな岩の連続となるが、危険箇所にはクサリ・ロープがついている。ハイマツとシャクナゲの木が大きな岩の割れ目を覆っているので注意が必要だ。印を追って登山道から外れないように気を付けて進む。二峰を越えたあたりから、眼下には黄色に色づいたダケカンバに沈む雨池が見える。雨池山を越えて(この登りが思いの外しんどかった)、縞枯山と山荘のあいだの木道を坪庭まで進み、今朝通った道をヒュッテまで戻った。

翌日は雨風が強く、縞枯山を断念し下山した。(記：玉越)

## 例会山行 1 近江・若狭の山 《百里ヶ岳》 931m

- 【日 程】 10月11日(日)  
 【参加者】 L勝尾・S L藤井・多賀・田中悦・島崎・田中初・杉村・森川・中  
 【コース】 小入谷越P(8:32)～シチクレ峠(10:00/05)～県境尾根分岐(10:17)～百里ヶ岳(10:44/11:30)～県境尾根分岐(11:55/12:00)～根来坂峠(12:30/12:40)～焼尾地藏(13:15/23)～小入谷バス停(14:05)～小入谷越P(14:16)



百里新道は、色づき始めた自然林に覆われ、登山道脇にはイワカガミの群生。春の花の季節は見事だろうと思う。紅葉も一週間後ぐらいが見頃かな？

県境尾根分岐から美しいブナ林に癒されながら登って行くと、頂上手前で、駐車場で会った四国の方々が下って来られ「また、四国の山に来て下さい」と声をかけて頂く。登山口から2時間ちょっとで広々とした百里ヶ岳山頂に到着。少し早いですが風の当たらない窪地で昼食タイム。

山頂から県境尾根分岐まで戻り、ここから根来坂峠へと県境尾根に行く。薄日も差して

きて快適に尾根歩きを楽しむ。霧田気の良い根来坂峠ま

で来ると、国境から高島トレイルを縦走して5日目と言う単独の男性と少し会話をしながら峠を後にする。

ここから、若狭の小浜から京都まで海産物を運んだ鯖街道(若狭街道・針畑越え)を下る。この道は、峰床山・八丁平に通じているようで八丁平で昼休憩したのを思い出しました。



焼尾地藏を経て、沢を渡り小入谷の集落まで戻ると、ススキの群生の向うに茅葺屋根が見え趣のある原風景にほっとする。百里ヶ岳は、登りも下りも自然林で心地良く特にブナ林の素敵な尾根道でした。

(記 田中初)

## 自主山行 台高の山《迷岳（1309m）》

【日 程】 10月16日（金）晴れ

【参加者】 L 藤井・島崎・辻・阪口

【コース】 上牧P場 6:00～登山口 7:30～809 峰 8:57～飯盛山 9:43～唐谷分岐 10:16～迷岳 11:06(昼食) 11:47～唐谷分岐 12:16～分岐 12:28～道迷いの為引き返す 12:41～分岐 13:00～林道 終点 14:08～登山口 14:59

登山口の登山届けは私達だけで他には一枚も無く、平日はこんなものかなと思いつつながら登り出す。

快晴で気持ちのいい登山日和。少し行くと、急登が始まる。小さなアップダウンを繰り返し飯盛山の北峰 809 の表示のあるピークに着く、まずは一つ目標の山をクリア。次は飯盛山と思いつつ進むが、急登に加え岩稜地帯が現れる。木の根や岩を持ちながら3点確保で登っていくが、行けども行けども、飯盛山に着けない。次こそはといくつもピークを越えても目標の山にたどり着けない

心が折れそうになりながら進んでいくと、下山の時の唐谷分岐に着く。ええ、と言うことは、飯盛山のピークは越えてしまったと言うこと。ショックです。ここで迷岳に向けチョット甘い物を食べて、折れた心を建て直しがんばるぞー。けれども急登の連続で、体力の消耗激しく頂上に着いた時は、嬉しいいんだか緊張の糸が切れたんだか、あっけないと言うか、妙な安堵感にホットする。今までの中で唯一、頂上がなだらかな場所で昼食にする。食べたら、いよいよ下りです。

唐谷分岐までピストンをして、さあ急な下山です。テープが少なくブルー色のテープが続く斜面を行くと、どうも違った事に気付き又元に戻る。急降下した分戻るのは辛い。汗だくになりながら元に戻ると、分岐を知らせる白テープが地味に2本巻かれた枝を見つける。もう少し派手な色にして欲しかった。そこからは、間違わずに下山できたが、道は荒れていて、登山者の少なさが解る。林道も崩れたジャリにおおわれ、いずれは、廃道になって行くのかなと思ったりする。登りは岩混じりの急登。下りも急降下。登山道も名前の通り迷いやすく、なかなか手強い山だ。

林道を歩いていると、飯盛山前衛峰がうっすらと紅葉し廻りの植林した山の中にあつて一人ピンと背筋を伸ばし、自己主張をしているように見える。この山は数年前に登った事があるけれど、その時の記憶と今回は別の山の様で、頭が老化しているのか、体が老化しているのか、どちらしてもピンチです。参加者みんな、山筋ゴーゴー体操をして筋力アップをはからねばと言う意見でまとまる。この山、ボッカをして登れば夏山練習には十分な値打ちがあるんじゃないかなあ。（記：阪口）



## 例会山行 鈴鹿の山《釈迦ヶ岳～猫岳》

【日 程】 10月18日(日) 晴れ

【参加者】 L橋本・藤本・的場・杉川・勝尾・杉村・船江・野路・藤井  
(9名)

【コース】 朝明P(8:55)～鳴滝コバ(10:00)～釈迦の白臺(11:00)～  
釈迦ヶ岳最高点(11:20)～釈迦ヶ岳(11:30)～猫岳(12:00/12:45)  
～羽鳥峰(13:30/13:45)～朝明P(15:00)

四日市で高速を下りると早朝にもかかわらず車が多い。もしかかマラソンが開催されるらしい。秋晴れの日各地でいろんなイベントが開催されているようだ。

釈迦ヶ岳にはたくさんの登山道があるが今日は朝明から中尾根コースを登る。私の古い地図には記載されていない初めてのコースだ。

しばらくは展望のない林の中を登っていくが、鳴滝のコバを過ぎると急坂になり展望が開け、鈴鹿の紅葉した美しい山々や四日市市街が見えてくるようになる。斜度がどんどんきつくなりさすが鈴鹿の山は手ごわい。

大蔭のキレットを過ぎるとすぐに釈迦ヶ岳最高峰、さらに行くと釈迦ヶ岳山頂に到着。狭い山頂には大勢の人がいて大人数の我々は写真だけ撮って遠慮して早々に山頂を後にする。西からの風が冷たくて寒い。昼食場所を探しながら猫岳に向かう。振り返ると真っ青な空と通過してきたキレットの白い岩肌、紅葉した木々のコントラストが美しかった。

昼食に適切な場所が見つからず猫岳山頂まで来てしまった。こじんまりした山頂は、日当たりも良く風も当たらず絶好の場所だった。

猫岳からの下山路は紅葉を楽しみながらの快適な道だった。1時間もかからず

花崗岩が風化した白い砂礫の羽鳥峰に着く。大岩の上でゆっくり展望を楽しんで下山は予定を変更して安全な林道コースをとる。林道と言っても荒れてしまっていて、とても車が通れるような道ではなかったが。

素晴らしい天候と、美しい紅葉を堪能できた気持ちのいい山行となった。



(記：藤井)

## 日本勤労者山岳連盟 <第6回 西日本女性担当者交流集会>

10月17日(土) 晴れ～18日(日) 晴れ 鳥取県船上山少年自然の家

17日 12:00受付開始～13:00開会式～13:15基調報告～  
13:50基調講演～16:30分科会～18:00夕食～  
19:00懇親会～

18日 9:00船上山交流登山

【コース】自然の家9:10～東坂登山口9:30～森林鉄道跡分岐9:40～  
船上山分岐10:20～船上山11:00～船上山11:20～  
千丈のそき11:30～船上山11:50/12:15～自然の家  
13:30

4月に女性部委員を仰せつかって半年。未だ何もわからない中、鳥取県船上山少年自然の家で開催された第6回西日本女性担当者交流集会に参加。西日本女性担当者交流集会は2年に1度開催されるとの事。1泊2日の日程で100名余り参加の大規模な交流集会に不安を持ちながら参加。流石に皆さん?十年のベテランさんばかり。参加した事を悔やむ事になるかと、内心心配したが大先輩のFさん(奈良労山)、Hさん(奈良HC)のお蔭で新米の私も皆さんに温かく受け入れて貰え、慌ただしくも楽しい時間を共有出来た。

17日の12時受付開始から18日交流登山終了までスケジュールびっしり。テレビドラマ「サマーレスキュー～天空の診療所～」の倉木医師のモデルになられた香川大学医学部准教授臼杵尚志氏、大山自然歴史館館長谷田貝繁明氏の2つの基調講演後、大阪府連の指導で「山のレシピの実践講座」乾燥菜を使った4種類の調理法等を学び、夕食後は和気合い合いの懇親会。懇親会終了後も近畿ブロックだけ大阪府連の方々の部屋に集まり、再来年担当予定の西日本女性担当者交流集会について消灯まで皆さんの活発な意見がとびかった。

翌18日は船上山を5コースに分かれて交流登山。奈良HCのHさんと森林鉄道跡コース約4時間コースに参加。

\*船上山(615m)

大山隠岐国立公園内に有り、山容が船底の形に似ていることからこの名が有る。南方に連なる勝田ヶ山(1149m)、甲ヶ山(1338m)、矢筈ヶ山(1358m)と連なり古期大山の火山活動によって生じたカルデラの外輪山と言われている。

(琴浦町発行 船上山パンフレットより一部抜粋)

(記:今井)

## 運営委員会だより

[日 時] 2015年10月2日(金) 18:00~19:30 事務所

[出席者] 島崎・辻・藤本・勝尾・杉村・今井・橋本

議 題 テント購入、緊急連絡体制 2.の 事故報告の件について

### 1. テント購入について

8月28日(金)の運営委員会にて受益者負担としたが、会の装備として考えるべきではないかとの最終結論に至り会として購入することに決定。

8月28日(金)の運営委員会にて、『購入費用は利用者より1,000円を使用料として徴収する』と決定していたが、再度検討の結果、会の装備として考えるべきではないかとの最終結論になり、利用者より1000円の徴収はせず、全額会の負担で購入することに決定。

又会費の用途を見直し早期に遭難対策基金より借り入れた返済に努める。

### 2. 会としての装備品購入、劣化に伴う買い替え、補充について

教育部が主となり年度初めに予算を計上し計画的に考えていく。

### 3. 緊急連絡体制 2.事故の報告について

事故の内容に応じて「事故対策委員会」を設置する。

委員会は、山行のリーダー、山行管理者、教育部で結成する。

事故報告書は事故対策委員会が作成し、原因・対策を明記して記録に残し、再発防止につなげる。

(記：橋本)

\*\*\*\*\*

## 今月のヒヤリ反省点

月 日	山 名	内 容
10/4	善防山	Mさんの足が痙攣
10/16	迷岳	下山ルート間違い
10/18	釈迦ヶ岳	羽鳥峰への方向指示板が不明瞭

# 室内例会だより

【日 時】2015年10月2日(金) 19:30~21:00 事務所

【出席者】都築、藤井、多賀、田中悦、島崎、田中初、林、辻、勝尾、藤本、杉村、杉川、高橋、坂口、今井、亀高、亀井、松浪、船江、野路、森川、中、橋本

## 1. 山行案内

10月 4日(日) 例会山行2 播磨の山《善防山~笠松山》 L 田中初  
10月 11日(日) 例会山行1 近江・若狭の山《百里ヶ岳》 L 勝尾  
10月 16日(金) 自主山行 台高の山 《迷い岳》 L 藤井  
10月 18日(日) 例会山行1 鈴鹿の山《釈迦ヶ岳~猫岳》 L 橋本  
10月 22日(木)~23日(金) 自主山行 大台ヶ原《大杉谷》 L 島崎  
10月 25日(日) 例会山行1 大峰の山《大普賢岳》 L 林  
10月 30日(金)夜発~11月 1日(日) 自主山行 大峰奥駈道《行者還隋隧西~弥山~八経ヶ岳~楊子ノ宿~釈迦ヶ岳~前鬼林道ゲート》  
L 藤本

## 2. 山行報告

8月 15日(土)~16日(日) 自主山行 中央アルプス <恵那山> L 藤本  
4名(他会1名)  
8月 22日(土)~25日(月) 自主山行 北アルプス <蝶ヶ岳~常念岳> L 藤井  
3名  
8月 29日(土) 自主山行大峰の山<大原山~大天井ヶ岳> L 亀高  
5名  
9月 2日(水) 岩稜歩行訓練第2回 京都大原山<金毘羅山Y懸尾根> L 藤本  
5名  
講師中武佳史(県連教育部長)  
9月 5日(土)県連「広域搜索訓練」準備山行 吉野の山<百貝岳周辺> L 藤本  
6名  
他会3名 CL:藤田氏(JAC 県連救助隊隊長) SL;中武氏(奈良労山;県連救助隊副隊長) 坂口(JSC)  
9月 6日(土)例会山行県連広域搜索訓練 吉野の山《百貝岳付近》 L 藤本  
10名  
9月 13日(土)県連登山学校(ハイツガリダ-学校)六甲の山《地獄谷~ピラーロック》  
L 中武講師(奈良労山・県連教育部長)  
4名

## 3.新入会員紹介

中 昌子さん入会されました。

(記:橋本)

# 西大和つうしん

第401号（2015年11月号）

2015年10月28日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 的場喜義

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>